

6世紀の日本(蘇我氏の台頭) [図表P.50] 年表

1. 6世紀初め(継体天皇期)

◇507年 北陸から継体天皇が迎えらる ← 1 \_\_\_\_\_ らが擁立

☆この天皇の即位にはかなり無理がある? [図表P.382「天皇系図」]

◇527年 筑紫国造(筑紫君) 2 \_\_\_\_\_ の乱

一時は“火の国”(肥前・肥後)、“豊の国”(豊前・豊後) まで勢力下におく大反乱。

新羅と結びついていたといわれる。

→磐井の墓と伝えられるのが「石人」「石馬」で知られた 3 \_\_\_\_\_ 古墳 [図表P.49] 3

2. 6世紀半ば(欽明天皇期)

540年 1 \_\_\_\_\_、加羅割讓(512年)をめぐる失政の責任を問われて失脚 [P.34] 2

552年 仏教公伝をめぐり崇仏派の 4 \_\_\_\_\_ と排仏派の 5 \_\_\_\_\_ が論争 [図表P.50] 1

3. 6世紀終わり(崇峻天皇期など)

587年 大臣 6 \_\_\_\_\_ が大連 7 \_\_\_\_\_ を打倒

→ 8 \_\_\_\_\_ 天皇擁立 (31代用明天皇につづく蘇我系天皇 P.35系図参照)

592年 8 \_\_\_\_\_ 天皇殺害 (蘇我馬子との対立?)

☆蘇我氏は渡来人との結びつきを強め、彼らの技能により大和政権の財政面を掌握。

〈大和政権の財政管理 = 「9 \_\_\_\_\_」 (斎蔵、内蔵、大蔵)〉 [P.34] 4; [図表P.50] 1

蘇我氏が仏教を保護した理由は  
ここにありあかもいせん

推古朝の政治

☆天皇殺害という異常事態と後継争いによる混乱を避けるため(?)、史上初の女帝が出現。

592年10 \_\_\_\_\_ 天皇即位

摂政11 \_\_\_\_\_

大臣12 \_\_\_\_\_

◇上記12の墓と伝えられる古墳は飛鳥の何古墳? [図表P.59]

先代天皇を殺害した人物とされていますが  
その権力に揺るぎはないようです。

☆6世紀はとらえどころが難しい時期ではな...  
でしょうか。5世紀までは考古学的な遺跡や中国の  
史書など情報もかなり限定的です。7世紀に  
は子と聖徳太子という人物や憲法17条などわりと  
よく知られていることなどでイメージしやすくなります。  
それらに比べるとあまりなじみのない人物が、そのと  
具体的にはわかっていないことからとも複数登場に  
くまの「とらえどころが難しい」と感じさせられては  
ないでしょうか。

そこでプリントでは6世紀を3つの時期に分けて  
みました。図表P50④を今後何度も開いて「6世紀」  
で思い浮かべられる本柄を増やしていきたいと思います。  
年表を参考に図表をみれば穴埋めはできると  
思います。

図表P.382の下半分、天皇系図で25代武烈と  
さかしまし。この武烈の後継に迎えられるのが  
26代継体です。仮にあつた武烈の位置は  
違ったとしても、継体の位置は親戚に思われる  
ますか?